

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国際比較文化論	
科目基礎情報							
科目番号	0055		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	環境建設工学専攻		対象学年		専2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	毎回プリントを配布する						
担当教員	柏倉 知秀						
到達目標							
(1)日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。 (2)国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 (3)文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から説明できる。		日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。		日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できない。	
		国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から説明できる。		国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。		国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できない。	
		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを説明できる。		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		今後の国際情勢を理解する上で必要な世界の歴史を、地域別に解説する。また、国際政治・経済に関する時事問題についても随時解説する。					
授業の進め方・方法		自学・自習用に学習シートを配布するので、必ず提出すること。受講者には日頃から新聞の1面・国際面・経済面に目を通す習慣をつけてもらいたい。授業の理解を高めるために、予習復習を必ずすること。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 日本1		授業の解説 日本現代史		
		2週	日本2		日本現代史		
		3週	東アジア		東アジアの地理・文化・歴史		
		4週	東南アジア		東南アジアの地理・文化・歴史		
		5週	オセアニア		オセアニアの地理・文化・歴史		
		6週	南アジア		南アジアの地理・文化・歴史		
		7週	西アジア		西アジアの地理・文化・歴史		
		8週	アフリカ		アフリカの地理・文化・歴史		
	4thQ	9週	ヨーロッパ1		ヨーロッパの地理・文化・歴史		
		10週	ヨーロッパ2		ヨーロッパの地理・文化・歴史		
		11週	ロシア 中央アジア		ロシア・中央アジアの地理・文化・歴史		
		12週	北アメリカ		北アメリカの地理・文化・歴史		
		13週	ラテンアメリカ		ラテンアメリカの地理・文化・歴史		
		14週	復習		これまでの内容を復習		
		15週	期末試験		上記の内容から出題する。		
		16週	まとめ		試験の解答・解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		4	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		4	
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	10	0	0	0	0	100
基礎的能力	90	10	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0